

熱愛する市民諸君に訴ふ

芝田町に高層なる御殿があります。日本の無産階級の搾取王淺野總一郎の御殿であります。淺野は労働者の膏血を搾り以てかゝる立派なる庭宅に安任しながら思ふ存分の事をして生の享樂を貪つて居ります。

淺野を社長に置く沖電氣株式會社は五百萬圓の大會社でありますが、前身を申上げますならば明治十年京橋榮町に故沖野太郎氏が日本で始めての電話事業を僅少なる資本と少數の職工に依つて惡戰苦闘して以て遞信省の方へも手を出し短期間に非常に發展致しました。

淺野は此の事業の有様なるに目を付け買収し以て工場を芝の辻へ建て大正五年始めて貳百五十萬圓の株式會社になりました。

然るに大正十三年再度の増資に依つて五百萬圓の資本を以て斯界に雄飛し始めました。創立の當時は僅少なる資本が現在五百萬圓に築きあげたる者は皆私達兄弟姉妹の眞に四十八年間の血と汗との結晶であります。大正十三年五百萬圓に増資を以て斯界に雄飛以來沖電氣株式會社は暴君のみの集りになりました。

就中取締役押田三郎は遞信省の古手官吏で重役の椅子を占めて以來自己の勢力の確充及榮達の爲に會社有るを知らず又一方私達労働者の生活低下のみに没頭して居ります。而して彼等は會社内にて同志の糾合に務めつゝある結果常に勢力争がたいまありません。昨年十月社員四十數名休職がありました。それは實に新勢力の台頭に依つて其の人達の犠牲になつたものであります。

新興勢力者池田孟工場長の一の乾分村杉某なるものは親分の勢力を傘にきて凡てを自分の利益の爲に親分の爲に私達が喰へ様が喰へまが會社が損をしやうが更にかまらなく體裁よく上に諂う事のみを吸々として居るのであります。爲に私達とたへず意見の疎隔を來します。其場合は自分の無理から職工にやり込められますと直に親分……池田工場長の應援を得て無理押へに押へつけて來たのです。

私達は會社の發展の爲に自己の主張も或る程度まで押へて居りましたが、彼等の様な無賴漢が沖電氣へ頭張るならば、必らず沖電氣は永遠に社會からほうむられる事と信じます。

今回私達は廿四ヶ條の嘆願を提出致しました。それは請負單價の値下賃銀の値下反對臨時工を本雇にする事等一步も私達は前進するのではなく底知れぬ私達の生活をたへず脅かす値下を防止しやうとする人間味の發路であります。かゝる當然すぎるほど當然な嘆願に對し會社は一考だに與へず一蹴した不誠意には何人も恐愕せざるを得ません。

現に今期會社は壹割の配當をして資本主を嬉ばして居ります。然しながら私達にのみ賃銀の値下諸負單價の値下等を勇敢に行つて居りますが、一方押田某の如きは最高給を取りあまつさい會社から多額の金を出し自動車を購入し運轉手を雇ひテニスコートへ行くのに自動車で出かけ二時間も三時間も運動に夢中になつて居ります。斯の如き露れる沖電氣の現状を考慮してより良く改善して以て働き良き工場とすべく更に今回廿ヶ條の要求條件を提出致しましたに對し會社は以前として誠意ある回答なき爲私達はやむなく會社に對し一時取引をやめ會社に反省を求め可く今回の労働争議を決定した次第であります。

私達は會社の董事者に對してモウ少し私達を人間としての取扱をして下さい。私達の生活の保護をして下さい。私達にも親も有れば子も有るものですから、二十年廿年も使つて居るのですから其の家族の食べるのも保護して下さい。又働かせるならば氣持よく元氣よく働かせて下さいと嘆願し要求したのであります。此の如くない叫びにどこに無理が有りますか、私達の要求が無理か會社董事者の無情無義が當然か諸君の御判断を乞ふ次第であります。

芳林 弟一  
和心

池田 孟  
大田 孟  
池田 孟

要旨  
3. 2. 1.  
又 又 又

4. 7. 19  
6. 30